

第 1 号 恵那南地区中学校あり方検討委員会だより

http://www.city.ena.lg.jp/shisei/administration/committee/enaminami_arikata/

平成26年8月1日発行

恵那市教育委員会 学校再編対策室発行

《ここまでの流れ》

恵那市の小中学校は、幼年人口減に伴う児童生徒の減少により、小規模化が進むとともに複式学級を余儀なくされる学校が増加する傾向にあります。これは平成18年度からの「恵那市総合計画」に『学校の小規模化に対応する教育のあり方』として位置付けられ、平成21年12月に「小規模教育検討委員会からの報告書」としてまとめられました。その報告を受け、平成26年度から恵那南地区（岩村・山岡・明智・串原・上矢作）の中学校のあり方を検討するために恵那南地区中学校あり方検討委員会を設置しました。

第1回は6月6日（金）に岩村振興事務所で開催しました。第2回は、7月15日（火）に市内中学校の様子を視察しました。この「たより」は、あり方検討委員会の動きをみなさんに広くお知らせしていくものです。

第1回あり方検討委員会

◇議題

開会のあいさつ

委員委嘱

議事

- 1 委員会設置要綱（案）について
- 2 正副委員長の選任について
- 3 これまでの取組について
- 4 年間スケジュールについて
- 5 その他

◇第1回の概要について

小中学校代表を始めとした恵那南地区の自治連合会・地域協議会・保育園保護者会・小中学校PTA代表と事務局等を含めた合計38名の構成メンバーで発足しました。

意見交換の中では『統合による子どもたちへの影響』に関する意見が多く挙げられました。



【第1回あり方検討委員会の様子】

（第3回開催8月26日（火）午後7時30分～
岩村振興事務所 2階大会議室）

第2回あり方検討委員会

◇内容

委員による現地視察の実施

- 1 串原小中学校視察
- 2 恵那西中学校視察
- 3 上矢作中学校視察

◇第2回の概要について

委員による市内3校の視察を行いました。ここでは、複式学級を開設している小学校の授業も参観しました。2つの学年を1つの教室とする『複式学級』については、本委員会の重要課題とする部分であり、質疑応答においては多くの意見が出されました。



【現地視察の様子】

◇委員の方の感想から

3校を視察したが、小規模校では「相手を思いやる気持ちは強い」と思うので良いことだと思います。ただ、保育園から中学校までクラス替えが無く、家族同様な雰囲気で学校生活を送るので、馴れ合いで競争意識が無いように感じた。

普通規模校では、学校自体の活気を感じました。生徒自身にも活気を感じました。

どの学校の先生も一生懸命に生徒の能力を引き出す工夫をしておられました。